

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年3月9日

団体名 りぶら国際交流センター 人材育成部会代表者 太田晴康構成員 14 人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

本会は岡崎周辺在住の外国人と岡崎市民または児童などとの相互理解と有効を広めることを目的としている。(規約第2条)

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
年間で 9回実施	Libra 301 会議室	岡崎市民	のべ 221 人	マンスリーイングリッシュ・サロン(5、6,7,9,10,11,1,2,3)月合計 9 回実施)講師は研究所、YAMASA 学生など。在住外国人に母国の自然、文化、歴史などについて英語で説明。聴講者は市政だより等で募集した。
R7/8/17 (日)	Libra 301 会議室	岡崎市小学生と保護者及び中学生	36 人	こどもワールドレクチャー (アメリカ、イタリア、メキシコ出身の外国人が日本語でプロジェクターを使って小学生及び、中学生にレクチャー)

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

岡崎市民と外国人の相互理解の促進。市民の英語力の向上

小学生及び中学生の国際的視野の啓発

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

(1)参加者を市政だより、OIA ニュースを用いて公募した。

(2)岡崎市在住の外国人を講師に誘い市民との交流を深めた。